

所報

ICHINOMIYA CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

SHOHOU

2018
7
July

Vol.678

毎月1回10日発行



(上段・左から) 浄蓮寺本堂、重厚な浄蓮寺山門 (下段・左から) 薬医門独特の造り、成瀬公の定紋「かたばみ紋」と菊付き留蓋、細やかな美しさが冴える漆喰の仕上げ

P2 常議員会を開催

P3 コスプレパレード7th 7/29開催

P5 「食品フェア」の出展者を募集

P12 高岡商工会議所との交流ページ

今月の写真

一宮の有形文化財（建造物）

浄蓮寺山門

一宮商工会議所

<http://www.ichinomiya-cci.or.jp/>

[f https://www.facebook.com/ichinomiya.cci](https://www.facebook.com/ichinomiya.cci)



一宮商工会議所 常議員会を開催 ～議員代表者の変更及び 各種事業についての報告を行う～

6月25日、一宮商工会議所4階小ホールにて常議員会を開催した。当日は、議員代表者の変更、さらに、先日開催された尾張五市商工会議所合同企業説明会の開催報告、7月に実施予定の移動常議員会の説明を行い、その他、厚生労働省が実施している働き方改革の推進について説明を行った。議員の変更については以下のとおり。

■ 議員代表者変更 ■

(※敬称略)

事業所名	旧	新
フジフーズ(株) 名古屋工場	藤井 典雅	大藪 篤志

6月12日に尾張一宮駅前ビル(i-ビル)で開催された尾張五市商工会議所合同企業説明会では、60社のブースに92名の来場者があり、来場者の85%が満足と回答。地元で就職を考える来場者にとって有意義な会であるとの声があった。

一方で、慢性的な人材不足の企業からは、来場者増加に向けてさらなる広報の強化を希望するなどの意見が出た。

働き方改革の推進については、特に働き方改革を進めるための助成金制度や生産性向上を支援するための業務改善を実施することに対して支払われる助成金などについて紹介。長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方の実現に向けた、様々な事例の説明を行った。



△常議員会にて講話を行う安藤元二議員

常議員会終了後の卓話では、本所議員である合資会社安藤商店の代表社員であり、一宮本町通り3丁目商店街振興組合の理事長でもある安藤元二氏を講師にお招きし、「一宮七夕まつりの移り変わりについて」と題して、卓話を行った。

一宮七夕まつりが始まる前の昭和23年の頃の商店街の様子を写した写真を紹介し、戦後の復興から立ち上がり、62年前の昭和31年の第1回一宮七夕まつりの様子や商店街のアーケードの整備とともに七夕飾りが豪華になっていくこと、真清田神社・服織神社と商店街と連携したパレードや催事の様子など写真をもとに紹介した。

安藤氏は卓話の中で「一宮七夕まつりは『織物感謝祭』と銘打っており、繊維のまちを中心に考え、これまで続けてきた祭りである。100回まで続くような祭りにしていきたい。」と話した。

一宮市商工3団体との意見交換会を開催 各団体の主要事業について情報交換を行う



△意見交換会の様子

6月5日、一宮商工会議所(会頭:豊島半七)は、尾西商工会(会長:木村孚男)と木曽川商工会(会長:五藤政尋)と一宮市の4者による意見交換会を実施した。

当日は、各団体の平成30年度の主要事業について報告し、さらなる連携を確認した。

さらに意見交換の場では、会員増強による組織率向上策について話し合いがなされた。

東海財務局による講演会を開催

東海地域の経済情勢と平成 30 年度の税制等のポイントについて



△講演会の様子

6月4日、本所3階大ホールにて、「東海地域の経済情勢と平成30年度の税制等のポイントについて」と題した経済講演会を開催した。

当日は、財務省東海財務局の北川理財部長を迎えてこの地域の経済情勢や中小・小規模事業者に対する更なる成長に向けての設備投資の現状や従業員の賃金動向さらに人手不足対策など、各種調査の結果をもとにわかりやすく解説をしていた。

ただいた。

「人材不足」については、管内4県の有効求人倍率の推移を取り上げ、全国よりも高い水準であることや、愛知県では県民所得が全国の1.2倍であるため、労働力需給の逼迫度が高いとのことであった。さらに、地理的に交通利便性が高い、名古屋市を中心とした愛知県よりも近隣他県の方が深刻であるとのことであった。対策として特に製造業を中心に、外国人労働者の積極的な活用が行われている現状を解説。今後も技能実習生を中心に外国人労働者の積極的な活用がなされるとのことであった。

「事業承継」については、事業承継税制の概要の解説を行い、専門機関への相談や補助金の活用など国や県が進める支援策の積極的な活用を促した。

近年はメディカル・デバイスと呼ばれる医療機器の技術革新に対する最新の状況についても解説をしていただいた。当日は80名が出席した。

「一宮七夕まつりコスプレパレード 7th」

7月29日（日）に開催します！！

一宮コスチュームタウン推進委員会（委員長：佐々木久直常議員）は、一宮七夕まつり期間中の7月29日（日）に、恒例の「一宮七夕まつりコスプレパレード 7th」を開催する。

7年目を迎える今回はゲストとして、永年に渡り数々の有名なアニメに出演されている日本を代表する声優の神谷明氏を招き、「ステージイベント」と「コスプレパレード」を行う。



また、初の試みとして、事前に募集した一般出演者が1組5分の持ち時間でアニメソングのカラオケを歌唱する「アニソンカラオケ」を尾張一宮駅前ビル3Fシビックテラス特設ステージにて行う。

コスプレパレードは、16時30分から17時30分まで、ゲストと一般のコスプレイヤーなどを参加者として、中心商店街で実施する。

本所では、当日の10時から19時まで、パレード参加者向けに更衣室を提供する。

「一宮七夕まつりコスプレパレード 7th」についてのお問合せは、企画事業部（電話：72-4611）まで。

実施日：2018年7月29日（日）

【アニソンカラオケ】

時間：10：00～11：45（予定）

場所：尾張一宮駅前ビル3Fシビックテラス

【ステージイベント】

時間：14：20～15：20（予定）

場所：尾張一宮駅前ビル3Fシビックテラス

【コスプレパレード】

時間：16：30～17：30（予定）雨天決行

場所：一宮中心商店街

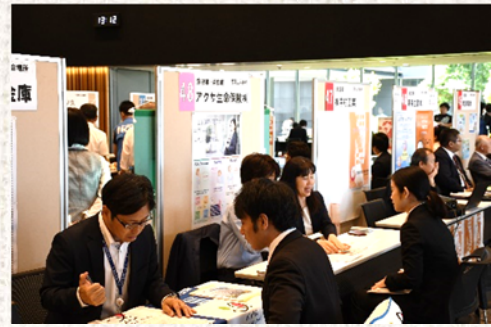
尾張五市商工会議所合同企業説明会を開催！！



△合同企業説明会の様子

6月12日、尾張一宮駅前ビル（i-ビル）7階シビックホールにて、「尾張五市商工会議所合同企業説明会」を開催した。

今年で4回目となるこの事業は、少子高齢化による地方の労働人口が減少傾向にある中、地元中小企業の人材確保が年々厳しい状況になりつつある昨今の雇用環境を踏まえ、西尾張地区の5つの商工会議所（一宮・津島・稲沢・江南・犬山）が共同し、西尾張地域の地元企業の雇用確保を支援するもので、より多くの企業、求職者のマッチング機会の創出を目的に開催。



△合同企業説明会の様子

当日は、60社の企業がブースを設置し、自社の事業についてPRを行った。

合計92名が来場し、企業から熱心に説明を聞く来場者の姿が多く見受けられた。

地元企業への就職を希望する学生については、「地元企業への関心が深まった。企業担当者の方と話すことができ、よかった。」との声もあった。

今後出展企業については、10月に内定状況調査、2月に採用状況調査を実施する。

一宮市産業観光プロモーション事業 推進協議会が開催されました



△協議会の様子

「一宮市産業観光プロモーション事業推進協議会」（会長：豊島会頭）を、6月5日、本所にて開催した。

3年目を迎える本調査事業は、観光による一宮の活性化を目的に、観光資源データの収集とブラッシュアップ、プロモーション手法の検討等に取り組んできた。協議会では、「愛知デスティネーションキャンペーン」と連携した事業の推進、ウェブアプリによる観光プロモーションの実証等にチャレンジすることが報告され、一定程度の成果と方向性を示す取り組みが求められた。

名岐道路整備促進に関する 要望活動が行われました



△秋元国土交通副大臣へ要望書を提出

5月30日、国土交通省にて「名岐道路整備促進」に関する要望活動が行われた。

「名岐道路整備促進期成協議会」会長である豊島会頭をはじめ、中野一宮市長、柴橋岐阜市長らとともに、秋元司国土交通副大臣らに、事業の早期事業化を要望した。

名古屋、岐阜をつなぐ新たな幹線道路である名岐道路は、一部未整備となっており、慢性化する国道22号の渋滞緩和や、様々なストック効果が期待されている。

第39回一宮総合食品フェア 出展者募集!

～10月14日 名鉄百貨店一宮店前で開催。ガラガラ抽選会など併催イベントも～

10月14日(日)に名鉄百貨店一宮店正面玄関前で開催する「第39回一宮総合食品フェア」の出展者を現在募集している。

このフェアは、一宮市内の食品会社が日頃ご愛顧いただいている消費者の皆様に感謝を込めて毎年開催するもの。

当日は商品の即売や一定額以上の商品購入者を対象にしたガラガラ抽選会を行い、例年多くの買い物客や家族連れで終日賑わいを見せている。

この機会に是非ご出展ください。詳細は開催要項をご参照ください。



【申込・問合わせ先】

△昨年度のフェアの様子

第39回一宮総合食品フェア事務局
(一宮商工会議所内) TEL. 72-4611 FAX. 72-4411

■ 開催要項 ■

□日 時 10月14日(日) 10:00～16:00

□場 所 名鉄百貨店一宮店正面玄関前

□内 容 即売

□出展料 1小間 10,000円

(縦900mm×横1,800mmの売台)

※募集小間数に達し次第受付終了

□募集小間数 20小間(先着順)

□申込締切日 7月31日(火)

【参考：昨年度の出展者、出展商品(18社)】

①菊一あられ(株): あられ、②(株)尾関園芸 愛知西農業(協)青年部: 野菜・鬼まんじゅう、③(株)きよせ: じゃがりこ、④(株)フレイバーユージ: メープルシフォンケーキ、⑤(株)名鉄百貨店一宮店: 野菜・果実、⑥和菓子処あんこや: よもぎ入あんころ餅他、⑦(株)名古屋食糧: 餅・レトルト加工品、⑧(株)フアキ: 生麩・焼麩等、⑨(株)なごやきしめん亭: きしめん・うどん、⑩三井食品工業(株): 漬物各種、⑪岩田食品(株): 佃煮、⑫(株)タクセイ: きな粉・ふりかけ等、⑬オリザ油化(株): 食用油、⑭(株)美ノ久: マスタード、⑮エスフーズ: ジャム、⑯一宮市浮野養鶏(株): 尾張の卵、⑰内藤醸造(株): 清酒・焼酎、⑱(有)アクアサイド: あかみカレー他 ⑲いちのみや食ブランド推進協議会

※敬称略・順不同

お知らせ

いちのみや食ブランド 新たに1品目を認定!

いちのみや食ブランド推進協議会(会長: 岩田孝逸常議員)は6月4日、新たに1品目を「いちのみや食ブランド」として認定した。これにより認定商品は76品目となった。

認定事業所には認定証を発行するとともに、「認定マーク(*)」の使用を許可する。認定品は今後「いちのみや食ブランド品」として広告・販売できるほか、公式ホームページやパンフレット(*)に掲載される。

■ 今回の認定商品

①かすていら、抹茶かすていら
(和菓子いちの)

一宮産の卵とはちみつを使った素朴な味わいの和菓子。店舗で販売している。

□販売価格 500円(税別)



■ いちのみや食ブランド認定商品募集 ■

いちのみや食ブランド推進協議会では現在、認定商品を募集している。

一宮市や周辺地域の農水産物や、それを使用した食品で、一宮の歴史・文化が感じられる商品が認定の条件。

申請をご希望される方は、ホームページから申請書をダウンロードの上、必要事項をご記入いただき、商品の写真やパンフレットなどの参考資料とともに、協議会事務局(〒491-0858 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所内)までご送付ください。



△認定マーク



△パンフレット

【問合せ先】いちのみや食ブランド推進協議会事務局

TEL: 0586-72-4611 WebPage: <http://Ichinomiya-brand.com/>

新産業創出研究会 第1回例会 自動車産業の電動化について講演



△新産業創出研究会・第1回例会の様子

新産業創出研究会(所管:産業振興委員会)の今年度第1回例会を、6月26日、本所小ホールで開催し、24名が参加した。

当日は、大同特殊鋼(株) 技術開発研究所 企画室の藤原正尚室長を講師に迎え、「車両電動化動向と構造変化および材料変化」と題して、環境・燃費規制の強化に伴い、ハイブリッド自動車や電気自動車等が増加する中、変化が進む市場や車体・部品構造について、今後の動向予測等を概説いただいた。

また、今年度より運営している、尾州織物産地の情報化等とイベント・生活の利便性向上機能を持つアプリに関する2つの分科会について、コーディネータ及び分科会参加メンバーより、開催状況の報告等が行われた。

青年部だより

青年部「一宮市の明るい未来を学び語る会」を開催 ～地元の5つの経済団体による合同の会議を開催～



△一宮市の明るい未来を学び語る会の様子

青年部(会長:柴垣健一)は、6月1日、本所4階小ホールにて、一宮市の明るい未来を学び語る会を開催した。

この会は、地元の5つの団体(本所青年部、公益

女性会だより

女性会6月研修会を開催 「SNS・ブログを仕事に活かす」をテーマに 研修会を実施



△研修会で挨拶を行う鳩山会長

6月5日、女性会(会長:鳩山佳江)は本所4階にて研修会を開催した。当日は、パスカル・クリエーションの蘆田智生氏を講師に招き、「SNS・ブログを仕事に活かす」をテーマにIT関連の勉強会を開催した。

当日は、女性会21名が参加し、SNSの種類や特徴、企業のSNSの活用実体など事例を踏まえわかりやすく解説していただいた。

財団法人一宮青年会議所、愛知中小企業家同友会(一宮地区、同一宮西地区、尾張北青年同友会)が一同に会し、それぞれの団体の活動の情報交換や協力依頼、定期的な勉強会を行うことで、一宮市の明るい未来に向けた活動の協力関係を構築することを目的に開催されるものであり、今年で5年目を迎える。

当日は、平成30年度の各団体の活動計画を発表するとともに、本会の趣旨の確認と今後の活動について意見交換を行った。今後取り組むテーマとして、地域の子供たちの育成、安心安全な地域づくりの支援、インターンシップの開催、中小企業振興基本条例を学ぶ勉強会の開催や環境問題への対策支援などがあがった。

今後、連絡会などを開催しながら、本年度の事業について取りまとめていくこととし、閉会した。

Business support center 【ビジネス支援センター】

一宮商工会議所 中小企業相談所

TEL: 85-7032 FAX: 72-4411

Homepage <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

設備投資を応援します 速報 『生産性向上特別措置法 成立』!! ～先端設備等導入計画の提出には認定支援機関の確認書が必要です～

償却資産税の新軽減制度「先端設備等導入計画による償却資産税軽減制度」（当初3年間の償却資産税が概ね0円になる。）に関して、その根拠法『生産性向上特別措置法』が平成30年5月16日に法律として成立した。

これは、我が国産業の生産性の向上を短期間に実現するため、短期間での生産性の向上に関する施策を集中的かつ一体的に講ずることを目的としたもの。

同法には、中小企業における労働生産性の伸び悩みや設備の老朽化に対応し、老朽化が進む設備を生産性の高い設備へ一新させ、事業者自身の労働生産性の飛躍的な向上を図る狙いもある。

具体的には、要件を満たす設備投資を行う予定の事業者が国から導入促進基本計画の同意を得た市区町村に対して「先端設備等導入計画」の認定を受ける事で各種の支援措置を受ける事ができる。支援措置の概要に関しては右記のとおり。また、事業者が計画の認定等を受ける際、認定支援機関で確認等を行うことが求められているため、本所等認定支援機関にご相談ください。

臨時・異例の措置として、地方税法において償却資産に係る固定資産税の特例を講じる。市町村の判断により、新規取得設備の固定資産税が最大3年間ゼロ（ゼロ～1/2範囲）。

【支援措置の概要】

- ① 生産性を高めるための設備を取得した場合、固定資産税の軽減措置により税制面から支援（地方税法に基づき課税標準を **3年間ゼロ** ～1/2間で市町村の定める割合に軽減）
※認定取得後の設備投資のみ
※工業会の証明書等各種添付書類が必要
※対象設備かどうかの確認が必要
- ② 計画に基づく事業に必要な資金繰り支援（信用保証）
- ③ 認定事業者に対する補助金における優先採択（審査時の加点）
 - ・ものづくり・サービス補助金
 - ・小規模事業者持続化補助金
 - ・サポイン補助金
 - ・IT導入補助金
 ※固定資産税ゼロの特例を措置した自治体

平成30年度 税制改正のポイント！ 中小企業の事業承継を力強く後押しするため、事業承継の際の贈与税・相続税の負担を軽減する「事業承継税制の拡充」について～認定支援機関の確認書が必要～

平成30年度 中小企業に影響するキーワードとしては、「事業承継」「生産性革命」「人づくり革命」となり、そのなかで、事業承継税制の改正内容は以下の通り。

中小企業の経営者の高齢化が急速に進展する中で、集中的な代替わりを促すため、「平成30年度税制改正」において、事業承継時の贈与税・相続税の納税を猶予する事業承継税制が大きく改正され、10年間限定の特例措置が設けられ、事業承継税制が抜本的に拡充された。

■「事業承継税制の拡充」

事業承継の際の贈与税・相続税の納税を猶予する「事業承継税制」について、今後5年以内に特例承継計画を提出し、10年以内に実際に承継を行う者を対象とし、贈与税・相続税の減免措置が拡充された。

《具体的な内容》

1. 入り口要件の抜本緩和→①対象株式数・猶予割合の拡大、②雇用要件の弾力化
2. 承継パターンの拡大→③対象者の拡大
3. 承継後の負担の抜本軽減→④新たな減免制度の創設等 が盛り込まれている。

中小企業が経営承継円滑化法の認定を受けるには、特例承継計画を都道府県に提出し確認を受ける必要がある。その際には認定支援機関の指導助言が必要となる。本所等認定支援機関にご相談ください。

○特例（時限）措置（平成30年1月1日～平成39年12月31日10年間）

1. 入り口要件の抜本緩和 - 対象株式数・猶予割合の拡大
 - ・対象株式数の上限を撤廃し全株式を適用可能に。
 - ・納税猶予割合も100%に拡大（事業承継時の贈与税・相続税の支払負担をゼロに）
2. 入り口要件の抜本緩和 - 雇用要件の弾力化
 - ・5年間で平均8割以上の雇用要件を未達成の場合でも、猶予を継続可能。（人手不足等を踏まえた柔軟な制度）
 - ※経営悪化等が理由の場合、認定支援機関の指導助言が必要。都道府県に理由記載の書類提出
3. 承継パターンの拡大 - 対象者の拡大
 - ・親族外を含む複数の株主から、代表者である後継者（最大3人）への承継も対象に。（中小企業経営の実状に合わせた、多様な事業承継を支援）
4. 承継後の負担の抜本軽減
 - ・売却額や廃業時の評価額を基に納税額を計算し、承継時の株価を基に計算された納税額との差額を減免。経営環境の変化による将来の不安を軽減。



〒491-0858 一宮市栄4丁目6番8号
一宮商工会議所 中小企業相談所
Tel.0586-72-4611 Fax.0586-72-4411

企業紹介

一宮の

Hair salon nico.lino

～お客様ひとりひとりに寄り添う 自然派プライベートサロン～

『お客様ひとりひとりに寄り添う自然派プライベートサロン』にぜひ足を運んでほしいと話すのは花池の hair salon nico.lino (ヘアサロンニコリノ) 代表の牧田 真由美氏。業務内容、当店の特徴、今後の展開などについてお話を伺った。

■1人1人のお客様を大切に

学校修了後、市内の美容室で25年間修業を経て、現在地で平成28年12月に創業した。

牧田氏は、これまでの経験を生かしてヘアはもちろん、アーユルヴェーダの考え方に基づいた全身トータルサポートを一人で行っている。店名の nico.lino は「にこ・笑顔」「lin・o 輪」とハワイ語の「lino (光輝く・結ぶ)」を合わせた造語で人との絆を大切に、輝く笑顔の輪を広げるお店にしたいという思いを込めている。

■広いプライベートサロンでリラックス

小さなお子様連れのベビーカーや、車いすなどもゆったり入れるスペースで、アロマエッセンシャルオイルによる香りの演出や日本茶、コーヒー、ハーブティー (自家栽培)、季

中小企業相談所は、国・県の中小企業施策の普及にあたり、特に小規模事業者の皆様の経営、金融、税務、経理、労務などに関する経営支援を行う機関です。10名の経営指導員が、それぞれ地区を巡回し、商工会議所の会員・非会員の区別なく相談に応じております。勿論、業務上知り得た秘密は厳守します。



▲ 代表者: 牧田 真由美 氏 ▲ 広々とした店内

節に合わせた薬膳茶の提供など女性がくつろぐ事ができる空間づくりを徹底している。

■自然由来の原料にこだわる

25年間の修行で様々な商材と出会い、ナチュラル・オーガニックのヘア商材を多数用意。さらに、天然100%の植物を使った草木染めを行う滋賀県長浜市の美容室 pocapoca が開講する tsuki アカデミー第1期生の認定サロンとして、天然100%のヘナを始め、様々な植物を取り入れる新しい美容法を取り入れている。ひとり、ひとりに合わせたヘアケアを心掛けている。



▲ 自社で作る天然ハーブ

■今後の展開

創業から約1年半が経過し、新たな取組を模索している。具体的には、生産者が見える素材を一貫して提供するヘアから全身へのトータルサポートメニューの考案を検討している。

美容目的だけに留まらず、ちょっとしたストレス解消やくつろぐ事ができる顧客の「第三の場所」を目指したいと語る代表が経営する同店の更なる飛躍を期待したい。

代表者: 牧田 真由美 創業: 平成28年
住所: 一宮市花池 2-18-8
TEL: (0586)64-8801
業 種: 美 容

Interview

Q 一宮商工会議所との関わりについて教えてください。

A 創業時の経営相談に始まり、持続化補助金の申請支援を頂きました。その他各種セミナーやまちゼミ等を活用していきたいと思っています。

キラリ輝け☆

会員事業所の新たな千カラ



本号では、新商品や新サービスを紹介する『合同報道発表会』※（平成30年2月23日（金）開催）に参加した事業者を紹介いたします！本誌で掲載された事業所の新商品・新サービスについて「当社に導入したい」「ビジネスマッチングできないか」など、ご要望があれば掲載事業者との面談機会を設けますので本所（中小企業相談所）までご連絡ください！

※面談については双方の了解のもと本所にてお会い頂く事とします。また、反社会勢力の方はもちろん、宗教・先物取引などを目的とした面談は固くお断りいたします。

社紋ロゴマーク作成



お客様を集めるロゴマーク、お金が流れて来るロゴマーク、優秀な人材が集まって来るロゴマーク。「形」には力があって、ロゴマークにそういう力があることはあまり知られていません。

国旗のない国がないように、ロゴマークのない会社は社会に存在しないも同然で、ロゴマークがないと誰もその存在を見つけてくれません。ロゴマークには意味があり、その形が整っているかどうか也非常に重要です。

当社が作るロゴマークは様々なロゴマーク（家紋や旗印や国旗などを含む）を30年以上研究し、そのノウハウも用いながら年商数千億の企業や、著名人などをサポートしている

方の手法の一部を使っていますので、作成後に様々な効果を発揮します。

当社もロゴマークを作り替えた途端に資金面でも営業面でも劇的な変化が起こっています。あればいいやというくらいの感覚で何となくロゴマークを作ってしまった企業の方、まだ作っていないという方がいらっしゃいましたら是非当社にお声かけください。

モリ印刷株式会社

TEL. 0586-77-5533

一宮市大赤見八幡北 27

<http://www.mori-print.co.jp/>

Biz サポート



よって、人材不足に悩む企業の業務を請け負っています。

既存の事務代行やオンライン秘書とは違い、気軽に相談できて幅広い業務に対応しているので、小規模企業にとっての業務効率化の即戦力となります。

企業と労働者どちらにも「ちょうどいいサービス」であり続けるように、尽力しております

経営者が経営に専念するための、「裏方業務のワンストップサービス」がBizサポートです。

オンラインで一括して依頼が可能なので、外注管理の煩雑さがなくなり、まるで自社に従業員がいるかのようなスムーズなやり取りが可能になります。

出産を機に離職した育児中の母親などの在宅ワーカーとの連携に

Biz TUNE

TEL. 070-1070-4388

一宮市栄 3-7-18 ミルキーウェイビル 5F

<http://bizsup.biz-tune.com/>

※【合同報道発表会】

会員事業所の情報発信をサポートするため、新商品や新サービスを報道関係者に向けて発表していただく機会を提供しています。（年2回開催：次回は平成30年9月5日（水）に開催）

地域商談会(尾張会場)を開催

公益財団法人あいち産業振興機構と本所を含む尾張地域 8 商工会議所は 6 月 14 日、稲沢市勤労福祉会館にて平成 30 年度 地域商談会(尾張会場)を開催した。

尾張地域を中心とした中小企業が受注機会の増大及び新規取引先の開拓を図るとともに、中小企業間の情報交換を通じ共同受注、共同開発、技術提携等を促進するために毎年開催されている。

当日は、一宮市内の企業 14 社をはじめ県内外から 202 社が申込みし、受注・発注各企業から提出された面談希望リストをもとに 316 件の商談が行われた。



△商談会の様子

アライアンス・パートナー発掘市 2018 を開催

6 月 18 日から 22 日まで、名古屋商工会議所にて、「アライアンス・パートナー発掘市 2018」を開催した。

アライアンス・パートナー発掘市とは、愛知県内 22 商工会議所の会員同士を引き合わせる事前調整型の商談会で、エントリー企業数は 733 社(申し込み時点)、そのうち、本所からは 23 社がエントリーし、マッチングウィーク期間中に商談が行われた。

【参考】

昨年度エントリー企業数は 779 社、そのうち本所からは 30 社がエントリーし、延べ 117 件の商談が行われた。



△商談中の様子

自社の強みを明確にし、効果的な情報発信をしよう プレスリリースセミナー 開催

プレスリリースとは新聞社やテレビ局に取材を依頼するための A4 一枚のシートである。本セミナーでは小規模事業者の新たな需要開拓に向け、自社の強みの明確化とターゲットの選定方法について指導するとともに、情報発信手法の一つであるプレスリリースの概要と自社商品の PR 手法について解説する。

- 日 時 8 月 10 日(金) 14:00 ~ 16:00
- 場 所 一宮商工会議所 4 階 402 室
- 進行役 栗林 芳彦 氏
(名古屋文理大学情報メディア学科教授)
- 講 師 高木富美子 氏 (中小企業診断士)
- 受講料 無料
- 定 員 30 名

セミナー内容

- 第 1 部 自社の強みを明確にしよう
- 第 2 部 プレスリリースとは
- 第 3 部 交流座談会

【問合せ・申込先】 中小企業相談所 TEL. 72-4611

あなたの会社の新商品をマスコミへ PR しませんか 合同報道発表会 開催

小規模事業者の情報発信をサポートするため新商品や新サービスを紹介する『合同報道発表会』を開催する。発表会では、報道関係者に向けて貴社の新商品・新サービスを発表していただくことができるほか報道関係者との交流会も行う。

是非、この機会に貴社の新商品・新サービスを報道関係者にアピールしてみませんか？

- 日 時 9 月 5 日(水) 10:00 ~ 11:30
- 場 所 一宮商工会議所 3 階 303 室
- 内 容 新商品・新サービスの発表
(各社 5 分程度)、交流
- 参加費 無料
- 定 員 10 社 (定員を超えた場合は選考)

プレゼンテーション勉強会開催！

- 8 月 23 日(木) 14:00 ~ 17:00
『マスコミに響く効果的なプレゼン資料のポイントとは』(予定)
- 8 月 30 日(木) 14:00 ~ 17:00
『事前リハーサル』(予定)
- 場 所 : 一宮商工会議所

【問合せ・申込先】 中小企業相談所 TEL. 72-4611



「第3回一宮まちゼミ」 参加店対象セミナー①を開催

10月1日から11月23日の54日間、「得する街のゼミナール（略してまちゼミ）」が一宮市内で開催される。5月上旬から参加店を募集したところ多数の問い合わせがあり、募集した60講座が集まった。

6月18日、「第3回 一宮まちゼミ参加店対象セミナー①」を本所で開催し、20名が参加した。「岡崎まちゼミの会」の松井代表が講師を務め、「まちゼミ」の注意点や全国の成功事例、周知用チラシ作成ポイントについて説明があった。

今後は、各参加店がゼミの内容を固め、7月中を目標に周知用チラシの作成を進めていく予定。

また、受講者募集前の8月21日（火）14時から「参加店対象セミナー②」

を開催。 スムーズにゼミを進める方法、ドタキャン防止策など、参加店の不安・疑問点を解決に導くセミナーを実施する。



△ セミナーの様子#

「マル経融資制度」&「定例金融相談会」 ご案内！ ～気軽にご利用ください～

当所で取り扱っている小規模事業者経営改善資金（マル経融資）の制度融資は、経営改善を図ろうとする小規模事業者の方々をバックアップするため、本所の推薦により、無担保・保証人不要・低金利で融資を受けられる国（日本政策金融公庫）の公的融資制度である。

ご利用をお考えの小規模事業者の皆様は、今後の資金繰り等のご検討の際にお役立てください。

- ◆利率:1.11%(平成30年6月 現在)
- ◆ご融資額:2,000万円以内
- ◆ご返済期間:運転7年以内／設備10年以内

浅井・葉栗地区を対象に 「会員の集い」を開催！



5月14日、本所大ホールにて浅井・葉栗地区会員を対象に、「会員の集い」を開催した。これは、地区会員の皆様に本所の施策・事業を広く紹介し、会議所への理解を深めていただき、会議所サービスを更に活用いただくため開催したもの。

当日は、本所ビジネス支援センターの森マネージャー(中小企業診断士)がIT導入補助金を始めとする各種補助金の活用方法を、中神専務理事は会員サービス・地域振興事業について説明を実施した。昼食懇談会では、意見交換や会員同士の交流も活発に行われ、和やかな雰囲気の中閉会した。8月10日には「北方・奥・尾西・木曽川」地区を対象に開催予定。

さらに、小規模事業者の経営状況の変化や、新たな設備投資などの事業資金調達等のニーズに対応するため、信用保証協会による「定例金融相談会」を開催中。相談会では担当者との直接面談で、完全予約制となっている。

毎月／第2火曜日（13:00～16:00）

- ◆ゆっくり融資相談ができます。
- ◆予約制のため、余裕をもってご連絡ください。
- ◆必要書類等はご予約時にお伝えいたします。

◎事業資金の使途（資金の使いみち）

- ・運転資金...仕入資金、買掛金・未払金・手形決済資金、賞与等
- ・設備資金...店舗や工場の新設・改装・増設、重機・機械・車両・IT機器の購入

【問合せ・申込先】 中小企業相談所 TEL. 72-4611

（愛知県信用保証協会 広告）



一宮商工会議所・高岡商工会議所交流事業

情報交流コーナー

Season7

一宮モーニング
キャラクター イチモ

このコーナーは、本所と友好関係にある高岡商工会議所の産業や季節のイベント、グルメ情報などを四半期に一度、紹介しています。

いま“伏木”がアツいんです！！



道の駅雨晴 展望デッキからの眺望

高岡市伏木（ふしき）は奈良時代に越中国の国府が設置され、万葉集の編纂に携わった歌人・大伴家持が国司として赴任したまちです。また、伏木は北前船の寄港地としても栄えた港町でもあり、現在は国際拠点港湾（全国で18ヶ所、日本海側では2港のうちの1ヶ所）にも指定（伏木富山港）されています。

高岡市伏木で育まれた「自然」「文化」「歴史」は、今改めて人々の注目を集めています。

伏木地区がアツい4つの理由

今年の夏は伏木に行こう！

【みなとオアシス伏木】賑わいの拠点「みなとオアシス」に登録される

6月に伏木港周辺地域が国土交通省港湾局によって「みなとオアシス」に登録されました。この港は世界最大クラスのクルーズ船も受け入れ可能で、重要な国際物流の拠点港にもなっております。また、夏に開催される「伏木港まつり」などの野外イベント時や海水浴シーズンには大いに賑います。

登録施設：伏木コミュニティセンター、伏木万葉ふ頭 万葉3号岸壁
万葉ふ頭緑地、国分海浜公園



【道の駅 雨晴】高岡市内で2つ目の道の駅がオープン！

4月に「道の駅雨晴」がオープンしました。富山湾を代表する優れた景勝地を臨む同施設は、海越しの立山連峰の眺望を満喫できる3階展望デッキやカフェ、サイクルステーション、お土産品売場を備えております。旅の疲れを癒しに、是非お立ち寄りください。※展望デッキは24時間開放

（住所：高岡市太田 24-74 定休日：年中無休）



【高岡市北前船資料館】日本遺産の構成文化財として認定される

日本遺産として認定されている「北前船寄港地・船主集落」の構成文化財として、同資料館である旧秋元家住宅や旧伏木測候所庁舎・測風塔など9件が、5月に文化庁より追加認定を受けました。

（住所：高岡市伏木古国府 7-49 定休日：毎週火曜日、年末年始）



【雲龍山 勝興寺】20年以上かけての大修理、8月に本坊を公開予定

勝興寺は国の重要文化財に指定されており、国指定の文化財としては日本で8番目の規模を誇ります。平成10年度から平成32年度までの約23カ年計画で保存修理事業が行われており、今年の8月は本坊の一部公開を予定しております。この機会に是非お越しください。

（住所：高岡市伏木古国府 17-1 定休日：なし）



The TAKAOKA Chamber of Commerce and Industry



高岡商工会議所

【お問合せはこちら】

〒933-8567 富山県高岡市丸の内1-40

TEL 0766-23-5000 / FAX 0766-22-6792 / ✉ takaoka@ccis-toyama.or.jp



第63回おりもの感謝祭 一宮七夕まつり 豪華七夕飾りつけが「一宮」の夏を彩る！

今年で63回目を迎える「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」は7月26日（木）から29日（日）まで市内一円で盛大に開催される。

期間中は伝統的な七夕吹流しをはじめ、子供たちに人気のアニメキャラクターなどが動くアーチ仕掛け飾りや豪華な大型吊下げ飾りなどが、一宮駅周辺および中心商店街、真清田神社などに飾り付けられる。また、さまざまな市民参加型のイベントが繰り広げられ、まちを夢とロマンの散歩道へといざなう。

ミス七夕、ミス織物のご紹介

七夕まつり期間中は、チャリティーサイン会をはじめ、撮影会、人力車七夕道中等、七夕まつりを盛り上げますので、今後の活躍に、応援をよろしくお願いします。

ミス七夕クイーン



渡邊 夕葵（わたなべ ゆき）さん

ミス七夕



山口 真季（やまぐち まき）さん

ミス七夕



岡戸 陽子（おかど ようこ）さん

ミス織物クイーン



田中 陽菜（たなか はるな）さん

ミス織物



寺田 美桜（てらだ みお）さん

ミス織物



川井 裕妃（かわい ゆうき）さん

（セーフティ共済 広告）

春の叙勲・褒章受章記念祝賀会を開催 行政・経済界関係者など多数出席

6月28日、木曽川文化会館ホール（尾西信金ホール）において春の叙勲・褒章受章記念祝賀会が開催された。

当日は、多年に亘る功績により叙勲・褒章の荣誉に浴された受賞者が出席し、盛大に祝賀会が開催された。

この祝賀会は、市長、市議会議長と経済界を代表し、本所会頭、尾西・木曽川両商工会長を発起人とし、毎年2回開催されている。

会員増強キャンペーン開催中

本所では、6月より会員増強キャンペーンを開催しております。会員の皆様のお取引先か
お知り合いの方で会員になっていない事業所
がございましたら、是非ご紹介ください。職員
が訪問し、ご説明させていただきます。

期間中にご入会いただいた方には、2,000円
分の商品券を贈呈。また、ご紹介いただいた
方には、1件につき1,000円分の商品券を進
呈いたしますので、下記までご連絡ください。

前期：平成30年6月1日～8月31日

後期：平成30年10月1日～12月31日

<問合せ先 総務部 TEL 0586-72-4611>

一宮少年少女発明クラブ 6月の定例教室を開催しました！



△発明クラブの様子

6月16日、一宮少年少女発明クラブは豊田合成（株）と一宮市木曽川庁舎にて、6月の定例教室を開催した。小学校4年生から6年生までの児童126名が参加。指導員と豊田合成（株）のサポートスタッフの指導の下でモノづくりの楽しさを学んだ。

4年生教室では、「動くおもちゃ」と題して工作を行い、5年生教室では「自作モーター」、また6年生教室では「動物ロボット」とそれぞれの習熟のレベルに合わせた教室を行った。

～日商簿記検定試験～ 総勢310名が試験に挑戦！



△簿記検定試験の様子

6月10日、一宮地場産業ファッションデザインセンター、一宮商業高校にて、第149回日商簿記検定試験を実施した。

当日は、1級11名、2級121名、3級178名のあわせて310名が試験に挑戦した。

簿記は、経理事務に必要な会計知識だけでなく、財務諸表を読む力や基礎的な経営管理や分析力が身につく技能。全ての従業員に有用なビジネススキルであり、コスト感覚が身につくなど経営の視点を養うことができる資格として注目度も高い。

簿記検定試験についての問い合わせは、企画事業部（TEL. 72-4611）まで。

～日商珠算検定試験を実施～ 総勢172名が試験に挑戦！



△日商珠算検定試験の様子

6月24日、修文大学にて、第213回日商珠算検定試験を実施した。

当日は、1級39名、2級50名、3級83名のあわせて172名が試験に挑戦した。

そろばん教育は、子供達のさまざまな能力を向上させ、科学的な分析でも、観察力、イメージ力、記憶力、集中力、情報処理力、速聴・速読力などが養われるとされ、これらの能力だけでなく学力全体の向上も期待される。

「一宮市消防団協力事業所表示制度」が 7月1日よりスタートしました

一宮市は、7月1日から、「一宮市消防団協力事業所表示制度」をスタートした。

この制度は、消防団活動に協力している事業所に対して市が表示証を交付することで、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、地域防災体制のより一層の充実を図ることを目的としたもの。

「消防団協力事業所」に認定されると、①表示証を自社ウェブサイト等で公開し、市民・顧客・他事業所等にPRできる、②市ウェブサイトにも事業所名を公開するため、地域社会からの信頼性向上に繋がる、③一宮市総合評価落札方式の入札における優遇措置が受けられる等のメリットがある。

なお、認定については、従業員が消防団員として相当数入団している、従業員の消防団活動について積極的に配慮している等の要件がある。

詳しくは、一宮市消防本部
総務課 消防団担当 電話：
72-1193(直通)、または右の
QRコードから。



「環境行動計画」

～CO2チェックシートのご活用を～

環境経営を支援するツールの一つとして、日商エネルギー・環境ナビが推奨する「CO2チェックシート」がある。

環境対策を考える時、最初に必要なのが現状の把握。事業活動の中で、どのくらいのCO2を排出しているかを把握し、対策を講じる場合は、どこから着手すれば良いかを検証するツールとして、「CO2チェックシート」が用意されている。

月々の使用料（量）を記録するだけで、エネルギー使用量の月別推移や平均使用料をグラフ化。エネルギー使用量やCO2排出量の「見える化」ができ、対策を行った場合の効果も一目瞭然となる。

チェックシートはエクセルファイルで提供されており、自由にダウンロードして活用できる。



詳しくはこちら（日商エネルギー・環境ナビ）
△<http://eco.jcci.or.jp/checksheet>

新入会員ご紹介 ～ご入会ありがとうございました～

事業所名	所属部会名
ほけんの窓口グループ(株)	金融・理財
外商部 名古屋法人営業課	
平松里香行政書士事務所	〃
(株)キッチンシティーカワサキ	商業
フィリップモリスジャパン(同)	〃
名古屋第三営業所	
(株)大友	土木建設
(有)ハウスクリエイト永井	〃
(医)本田耳鼻咽喉科医院	文化・サービス
のむらそろばん教室	〃
よつば珈琲店	〃
(株)HOUSEN	〃
(株)VISIO 東海	〃
STAY DREAM	〃

※平成30年4月1日～30日の新入会分。

新入会員のうち、名簿の公表を希望しない事業所は掲載しておりません。

今月の表紙 「一宮の有形文化財（建造物）」 浄蓮寺山門

一宮市の指定文化財。明治初年（1868年）に犬山城の松の丸の本丸門を移築したもので、鬼瓦には、犬山藩成瀬公の定紋である「かたばみ紋」が入れている。

門は薬医門（やくいもん）という形式で、基本は、前方2本（本柱）・後方2本（脇柱）の計4本の柱で屋根を支える。当門では、本柱と脇柱を並列させて正面とし、その後方に控柱を持っている。

屋根の頂点部分の棟木（むなぎ）を、棟木と水平方向に交差して配置された男梁（おぼり）に立てた束で支えるが、その位置が本柱通りの上でなく、内側へ寄り、屋根の荷重を控柱にも分けている点が薬医門の特色である。

当門の、屋根の組棟の複雑さ、降り棟、刀根丸（とねまる）の菊付き留蓋（とめぶた）などの重厚さは、簡素な柱組みの構成のもとで豪快な趣を醸し出す一方、妻から軒にかけての漆喰い仕上げの白が冴え、細やかな美しさを添えている。

平成元年度には、保存修理が実施されている。

また当寺では、住職ご夫妻が教える習字教室、絵画教室をはじめ、ヨガ教室、英語教室、手仕事茶話などを開き、老若男女が集う機会を提供している。

所在地 千秋町穂積塚本 22

所報・第六七八号(平成三十年七月十日号)
印刷・西濃印刷株式会社

発行・一宮商工会議所(一宮市栄四丁目六番八号)
定価二〇〇円(消費税込み)※会員の購読料は会費に含まれています

編集発行人・中神 優

税理士法人ベストフレンド 広告